

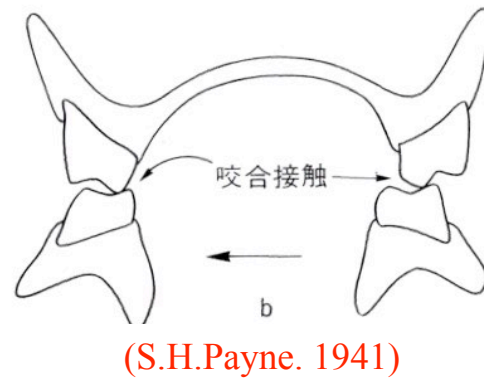
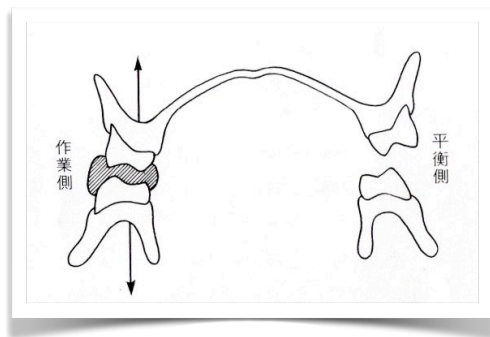
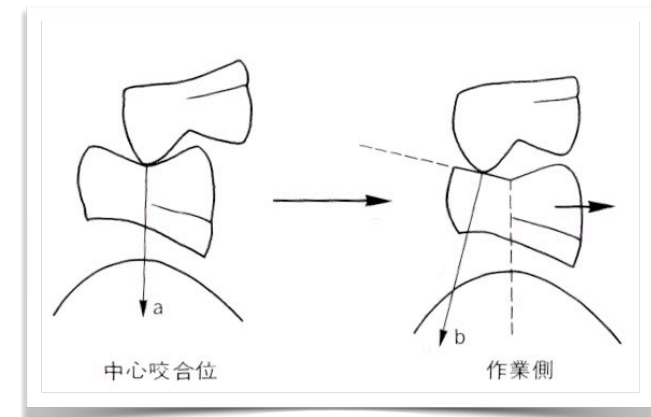
# 片側性咬合平衡

平衡側は離開状態となり，義歯は作業側を軸として転覆力が働くようになる。そのため，片側で噛んでも義歯が転覆しないよう力学的に安定する顎堤上に臼歯を排列する必要がある。

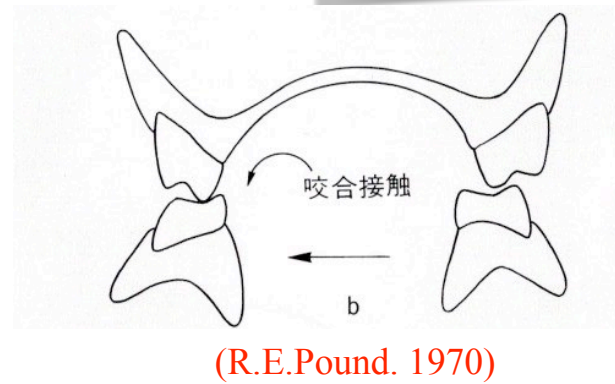
## 2. リンガライズドオクルージョン

Payneの両側性平衡咬合やPoundの片側性平衡咬合のように，中心咬合位および側方滑走運動時に，上顎の舌側咬頭だけが下顎臼歯に接触することで咬合力を舌側へ誘導して，義歯の安定を図る咬合様式。

この排列法の場合，下顎臼歯は歯槽堤中央部に位置付けられ，ほぼ天然歯があった位置に排列されることになる。



(S.H.Payne. 1941)



(R.E.Pound. 1970)